

令和5年度 外部評価シート

施設名	舞子公園	現指定管理期間	令和2年～令和6年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和2年～令和4年)

評価項目	評価
維持管理業務	<p>本公園では、恵まれた景観資源を生かすべく景勝のシンボルである松林の保全・育成のために樹木医と連携した植栽管理、旧木下家住宅の文化財に相応しい庭園の保全・管理、芝生広場の芝刈り、低木の剪定や灌水等適切な植物管理を行い良好な状態を保っている。清掃についても、利用状況に応じて清掃回数を増やしており、利用者が快適で安心して利用できる環境の確保に努めている。また、設備や遊具管理について、点検を強化し、状況に応じて利用停止などの措置を講じ、利用者の安全確保に努めている。</p> <p>公園利用者アンケートによると、「公園内(トイレや園路など)の清掃」「公園内の景観」「花壇、樹木等の植栽の手入れ」「遊具などの施設の管理状況」については、高い満足度を得ている。</p>
運営業務	<p>本公園では、芝生広場での「シーサイドグルメテラス」、「FOOD TRUCT FES」等、大規模な食のイベントや地域連携した「神戸よさこいまつり」や「リサイクルマーケット」などのイベントを数多く開催し、多くの利用者が来訪している。旧武藤山治邸では、年間20回を超えるジャズコンサートの開催やクリスマスに合わせたテーブルコーディネート展示、旧木下家住宅では年間を通じたお茶会や生け花体験会を開催する等、各施設の特色や雰囲気を活かしたイベント、プログラムを実施し、公園の魅力の発信に努めている。</p> <p>また、本公園は外国人観光客も多いことから、ひょうご観光本部等観光部局と連携した誘客促進、公園パンフレットや案内板、ホームページの多言語化やキャッシュレス決済の導入、おりがみ教室や和太鼓イベント等、日本の文化に触れるプログラムを実施し、“おもてなし”に取り組んでいる。</p> <p>さらに、公園の魅力向上プロジェクトを実施し、年間60回を超える撮影・ロケーションに活用されている。</p> <p>イベントアンケート結果における「イベントの感想」では、「満足」「やや満足」と回答した割合が9割を超えており、高い満足度を示している。</p> <p>また、舞子海上プロムナード利用者アンケート結果によると、「職員の対応(プロムナード内)」は8割を超える高い満足度を示している。</p>
利用状況	<p>現指定管理者が公募時に提案した目標年間来園者数(年間200万人)に対して、令和2年度は147万人、令和3年度151万人、令和4年度は181万人であった。</p> <p>令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、有料施設の閉鎖やイベントの縮小・中止などがあったことから低い水準となっているが、令和4年度は、令和元年の入場者数を超えるまで回復している。</p>
収支状況	<p>旧木下家住宅や旧武藤山治邸のスタッフの両施設兼務配置を行う等、人員を固定的に配置せず有効に配置活用したことや、園内施設や設備の修繕を極力直営で行うことにより、経済的かつ効率的な運営に取り組んだ。</p> <p>しかし、指定管理者が自主事業の収益による維持管理費の補填を行っているが支出が収入を上回る状況が続いている。</p>
運営体制	<p>公園管理運営士や1級建築士等を配置し、円滑な管理運営を行った。園内の安全管理について、警察や地域自治体等との合同パトロールや夏期夜間警備の実施等、園内の安全・安心な環境づくりに努めている。</p>

その他	—
-----	---

2 残りの指定期間における改善点

「評価項目ごとの評価」を踏まえると、指定管理者は、文化施設に適した管理、利用者ニーズに即したイベント、有資格者の配置を行っており、利用者の満足度も高い。また、自習事業の展開や企業協賛の取り組みも行われている。これらのことから、適切に業務を実施していると評価できる。

今後のコロナ禍に対応した新たな公園の管理運営を踏まえ、広報に関する満足度が他項目と比較して若干低くなっている。しかし、ホームページやSNSでの情報発信は積極的に行っているため、より多くの人・より広い世代の目に触れるようポスターの掲示など、発信方法の工夫を求める。

3 次期公募に向けた検討課題等

収支状況においては、指定管理者が自主事業の収益による維持管理費の補填を行うもなお、支出が収入を上回る状況が続いていたが、令和4年度からは駐車場の24時間利用が始まったことにより、駐車場利用料金収入の増加が見込まれ、収支の改善が期待できる。

このような状況を踏まえ、県においては、自主事業によるさらなる収益増加や企業協賛等による財源確保、また、公園の各施設の特色や雰囲気を活かしたイベント、プログラムの開催や公園の魅力発信に取り組むことが重要課題となっていることに留意のうえ、今後の公募にあたっていただきたい。

(参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
鷗木 千加子	甲南大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	